

平成29年度 市政経営の概要 《施策と予算》

基本計画に位置付けた各施策・事業の着実な推進

4つの重点プロジェクトと2つのアクションにより施策全体を効果的に展開

<4つの重点プロジェクト>



重点プロジェクト1
「強いまち」をつくるプロジェクト
これまでの防災対策の取組に加え、
震災の対応や教訓を踏まえた
災害に強いまち



重点プロジェクト2
「安心して住み続けられるまち」
をつくるプロジェクト
福祉や子育て、教育などの面で、
だれもが安心して
住み続けられるまち

重点プロジェクト4
「うるおいのあるまち」を
つくるプロジェクト
地域資源を生かした環境面等
でうるおいを醸し出すまち



重点プロジェクト3
「利便性が高く快適で
豊かなまち」をつくるプロジェクト
都市構造の変貌を機に、利便性と
快適性を兼ね備えた
にぎわいと交流のある豊かなまち



<2つのアクション>

アクション1「横断的連携による施策の推進」
横断的に取り組むべき主要事業や課題に
ついて、連携体制を構築し、課題解決に向けた取
組を推進

アクション2「調布のまちの魅力発信」
調布のまちが大きく変貌する機会を捉え、ソフト・ハードが一体となった魅力あるまちづくりを推進し、調布のまちの魅力を市内外に発信

<市政経営の2つの基本的考え方>

調布市

参加と協働のまちづくり
～人と人がつながる市民が主役のまち～

持続可能な市政経営
～質の高い行政サービスの提供～

平成29年度市政経営の概要《施策・予算》Contents

ページ

I 市政の経営方針等	1
1 平成29年度における市政の経営方針について	1
2 平成29年度予算編成方針について	1
II 市政経営の重点	2
1 4つの重点プロジェクト	2
(1) 強いまちをつくるプロジェクト	2
(2) 安心して住み続けられるまちをつくるプロジェクト	4
(3) 利便性が高く快適で豊かなまちをつくるプロジェクト	7
(4) うるおいのあるまちをつくるプロジェクト	9
2 平成29年度予算(案)のその他の主な事業	10
3 公共施設等の総合的かつ計画的な管理(公共施設マネジメント)の推進	11
4 子ども・子育て分野、福祉分野における新たな課題に対する取組の推進	16
5 東京2020大会、ラグビーワールドカップ2019に向けた取組の推進	18
6 市政経営の2つの基本的な考え方	22
(1) 参加と協働のまちづくり ～人と人がつながる市民が主役のまち～	22
(2) 持続可能な市政経営 ～質の高い行政サービスの提供～	23
III 予算(案)の概要	27
1 市政経営を取り巻く状況	27
2 平成29年度市政の経営方針を踏まえた予算編成過程	28
3 予算規模	29
4 財政フレーム	30
IV 一般会計の状況	32
1 歳入歳出予算の状況	32
2 歳入予算の状況	34
(1) 市税	36
(2) 譲与税・交付金	40
(3) 市債	44
(4) 基金	46
(5) 使用料・手数料	48
(6) 国・都支出金	49
3 歳出予算の状況	50
(1) 目的別予算の状況	50
(2) 市民1人当たりの各目的別予算額	52
(3) 性質別予算の状況	53
(4) 主な予算科目等の状況	54
ア 民生費	54
参考 社会保障関係経費の推移	55
イ 土木費	57
ウ 教育費	58
エ 公債費	60
オ 繰出金(特別会計分)	61
カ 職員人件費	62
(5) 投資的経費	63
V 主要事業概要	65
VI 財政規律ガイドラインから見た平成29年度見込みと今後の取組	108
VII 特別会計の状況	125
☑ 資料編	137
1 市政の経営方針等	139
2 平成29年度予算編成過程等	157
3 基本計画事業の状況	163
4 平成29年度会計別予算の状況	199
5 データ集(経年比較等データ)	214
6 財政用語の解説	229
予算(決算)の主な用語の解説	229
代表的な財政用語の解説	236
地方財政健全化法	245

強いまちをつくるプロジェクト

「地域の防災力を高める」

- ◆防災市民組織の育成
- ◆調布市災害時要援護者避難支援プランの推進
- ◆防災備蓄品の確保・充実
- ◆災害情報システムの維持管理・充実
- ◆消防水利の整備・維持管理
- ◆消防団の対応能力の向上
- ◆常備消防力の維持・向上
- ◆命の教育活動の推進



「強い都市基盤をつくる」

- ◆特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業
- ◆橋りょうの耐震改修
- ◆下水道施設の地震対策の推進
- ◆住宅の耐震化の促進



安心して住み続けられるまちをつくるプロジェクト

「子どもたちの健やかな成長を支える」

- ◆待機児童対策の推進
- ◆学童クラブ施設の整備
- ◆ひとり親世帯の子ども学習・相談支援事業
- ◆子ども・若者総合相談事業
- ◆特別支援教育の推進
- ◆小・中学校施設の整備



「高齢者や障害者の暮らしを支える」

- ◆地域包括支援センターの充実
- ◆介護予防・日常生活支援総合事業の展開
- ◆地域密着型サービスの整備
- ◆特別養護老人ホーム等の整備
- ◆福祉人材養成拠点の整備
- ◆障害者の就労支援

利便性が高く快適で豊かなまちをつくるプロジェクト

「21世紀の調布のまちの骨格をつくる」

- ◆駅前広場の整備
- ◆鉄道敷地の整備
- ◆都市計画道路の整備
- ◆調布駅周辺における市街地再開発事業の促進
- ◆自転車等駐車場の整備・有料化



「まちの活力を高める」

- ◆商店街活性化の推進
- ◆民間ノウハウを活用した中小企業・小規模事業者の支援
- ◆「映画のまち調布」の推進
- ◆オリンピック・パラリンピックに向けた取組の推進

うるおいのあるまちをつくるプロジェクト

「豊かな水と緑を大切に守り生かす」

- ◆公園・緑地、崖線樹林地の保全
- ◆公園・緑地等の整備
- ◆深大寺・佐須地域の里山、水辺環境の保全・活用

「良好な景観を創出する」

- ◆景観計画・景観条例の運用
- ◆深大寺地区におけるまちづくりの推進
- ◆公共サイン計画の検討・運用



本説明資料について

本概要は、平成29年度施策・予算(案)の内容を編集・整理し、できるだけ見やすく、わかりやすくを基本に作成しています。

◇数値は、各項目の百万円、表示単位未満四捨五入を基本としているため、合計値と合わない場合があります。
 ◇過去の推移は、原則、当初予算額で表示しています。ただし、市債・基金は残高を表示するため決算額を基本に、平成28年度は見込額で表示しています。
 ◇主要事業や重点プロジェクトの事業費は、各施策の括り方によって、事業費の差異がある場合があります。

I 市政の経営方針等

平成 29 年度は、修正基本計画（平成 27 年度～平成 30 年度）の 3 年次目として、計画の最終年次に向け、引き続き 4 つの重点プロジェクトを基軸に、庁内の横断的連携と調布のまちの魅力発信の 2 つのアクション及び調布市まち・ひと・しごと創生総合戦略を有機的に連動させ、各施策・事業を着実に推進していきます。

併せて、市政の第一の責務である市民の安全・安心の確保や市民生活支援を基調とした取組を継続するとともに、新生・調布のまちの骨格づくりを前進させていきます。また、2019 年ラグビーワールドカップ・2020 年東京オリンピック・パラリンピック開催を見据えた取組を展開し、次期基本計画期間（平成 31 年度～平成 34 年度）を含む平成 30 年代を展望した中長期的な視点を持ち、ソフト・ハード一体となった各施策・事業の展開を図っていきます。

市の財政状況は、健全性を維持しているものの、今後も社会保障関係経費をはじめ、保育園の待機児童対策、公共施設の老朽化対策、中心市街地の整備など大きな財政需要が見込まれています。また、国内の社会経済状況においては、景気は緩やかな回復基調が続いているところですが、今後の地域経済や市政への波及効果は、今なお不透明と言わざるを得ません。

こうした市政を取り巻く状況や市の財政状況について、全職員が共通認識を持って諸課題に適切に対処するとともに、引き続き財政の健全性の維持に努めながら、まちの将来像「みんなが笑顔でつながる・ぬくもりと輝きのまち調布」の実現に向けた取組を推進していきます。

1 平成 29 年度における市政の経営方針について

(平成 28 年 10 月 11 日付け市長通達)

<平成 29 年度市政経営方針骨子>

- (1) 2 つの基本的考え方による市政経営の推進
 - ア 参加と協働のまちづくり
 - イ 持続可能な市政経営
- (2) 4 つの重点プロジェクト及び 2 つのアクションへの取組
 - ア 強いまち
 - イ 安心して住み続けられるまち
 - ウ 利便性が高く快適で豊かなまち
 - エ うるおいのあるまち
- (3) その他、横断的連携課題等への取組
 - ・新たな課題については、重要性和緊急度を十分精査し、必要な財源確保を図る中で取り組む
 - ・マイナンバー制度、情報セキュリティの強化、空家対策など

2 平成 29 年度予算編成方針について

(平成 28 年 10 月 11 日付け行政経営部長通知)

<平成 29 年度予算編成における基本姿勢>

- (1) 基本計画最終年次に向けて、4 つの重点プロジェクトを基軸とした各施策の着実な推進と、市民の安全安心の確保や市民生活支援への継続的な取組
- (2) 「選択と集中」の視点から、事業の優先度や内容、規模、効果の厳しい精査と、あらゆる角度からの歳入確保、経費縮減への取組
- (3) 財政の健全性を維持していくため、継続的な財政構造の改善と中長期を見据えた財政基盤強化への取組

Ⅱ 市政経営の重点

1 4つの重点プロジェクト

*事業費は原則として100万円未満を四捨五入しています。



計画に位置付けている4つの重点（「強いまち」、「安心して住み続けられるまち」、「利便性が高く快適で豊かなまち」、「うるおいのあるまち」）により重点プロジェクト事業を推進します。

(1) 強いまちをつくるプロジェクト

◆ 地域の防災力を高める

自助・共助・公助の基本的な考え方のもと、地域や関係機関等との協働により、地域の防災体制づくりを推進し、地域の防災力の向上を図ります。

◆ 強い都市基盤をつくる

特定緊急輸送道路の沿道建築物の耐震化促進や橋りょう・下水道の耐震化の推進により、市民の安全を守り、安心して暮らすことができる災害に強い都市基盤づくりを進めます。

◆ 地域の防災力を高める

【平成29年度の主な取組】

◇ 防災市民組織の育成（基本計画事業 No.1）＜総務部＞ ※拡充 1,300万円

防災に関する各種講演会や出前講座などの実施や、防災備蓄品の提供などによる支援を行い、地域に根差した防災活動の主体となる防災市民組織の新規結成や育成を図ります。また、平成29年度は、新たな多摩川の浸水想定区域を踏まえ、洪水ハザードマップの更新を行い、市内に全戸配布することで、市民に対する防災意識の啓発を図ります。

◇ 調布市災害時要援護者避難支援プランの推進（基本計画事業 No.2）＜福祉健康部＞ ※拡充 300万円

災害時における避難行動要支援者（災害時に自ら避難することが困難な高齢者や障害者等）の避難支援プラン（平成28年度再編）に基づき、その対象者の名簿を整備し、消防、警察、民生委員・児童委員、福祉関係団体、地域で活動する組織等との平常時からの連携に努め、災害時に自助・共助・公助がそれぞれの力を発揮できる体制の整備を進めます。平成29年度は、避難支援プランの推進のため、新規の協定締結団体に対し、補助を実施します。

◇ 防災備蓄品の確保・充実（基本計画事業 No.3）＜総務部＞ 6,500万円

地域防災計画に則した防災備蓄品の確保・充実に努めます。引き続き、小学校に2基目となる防災備蓄コンテナの配備を進めるため、平成29年度は、小学校3校（設置校は未定）にコンテナを設置するとともに、避難所運営に資するためのマンホールトイレや非常用小型発電機等の確保・充実に努めます。

◇ 災害情報システムの維持管理・充実（基本計画事業 No.4）＜総務部＞ ※拡充 2億1,600万円

地震や風水害などの災害情報を提供する市民向けメールシステムや、防災フリーダイヤルの運用を行うとともに、災害時の情報提供・通信システムの確保に取り組みます。

また、平成29年度は、移動系のデジタル防災行政無線の設置を開始するとともに、固定系の防災行政無線のデジタル化に向けた設計を行います。

◇ 消防水利の整備・維持管理（基本計画事業 No.9）＜総務部＞ 1億1,400万円

災害時に迅速な消火活動が展開できるよう、防火貯水槽を整備し、災害時の対応能力の維持・向上を図ります。また、消火栓の新設・維持管理を行います。

◇ **消防団の対応能力の向上**（基本計画事業 No.10）＜総務部＞ ※拡充 **2,700万円**

火災・災害時における対応能力を向上するため、消防団のポンプ車を更新するとともに、安全性・機能性を向上するための装備・資機材の充実・強化を図ります。

◇消防団ポンプ車更新（1台：第11分団）

◇ **常備消防力の維持・向上**（基本計画事業 No.11）＜総務部＞ **2,000万円**

東京消防庁と連携・協力し、常備消防力の維持・向上を図るため、調布消防署本署及び国領出張所の建替えを進めます。平成29年度は、調布消防署本署の建替えについては、現在地での建替えに向け、平成28年度に取得した用地において、建設工事を開始します。また、国領出張所については、上半期の建替え工事竣工後、運用を開始します。

◇ **命の教育活動の推進**（基本計画事業 No.28）＜教育部＞ **400万円**

児童・生徒に対する「命」の授業や、防災に関する保護者・地域対象の講話、訓練等を実施する「調布市防災教育の日」の取組を市立小・中学校全校一斉で実施します。また、普通救命講習を小学校6年生・中学校3年生に実施するとともに、市立小・中学校全教員の上級救命講習の認定を目指します。さらに、各校2人程度の応急手当普及員を配置します。

◇平成29年度「調布市防災教育の日」 平成29年4月22日（土）



◆ **強い都市基盤をつくる**

【平成29年度の主な取組】

◇ **特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業**（基本計画事業 No.6）＜都市整備部＞ **1億8,300万円**

震災時の復旧・復興の際、物流の大動脈となる特定緊急輸送道路が沿道の建築物の倒壊により閉塞しないよう、補強設計、耐震改修、建替え及び除却に要する費用の一部を補助し、沿道建築物の耐震化を促進します。

◇ **橋りょうの耐震改修**（基本計画事業 No.7）＜都市整備部＞ ※拡充 **1億3,300万円**

災害時の救急・救助や資機材等の物流経路を確保するため、橋りょう長寿命化計画に基づき計画的な耐震工事を進めます。また、橋りょうの安全な維持管理のため、橋りょう台帳を整備するとともに、補修工事を行います。

◇平成29年度耐震補強工事：神明橋ほか2橋

◇平成29年度補修工事：大町橋ほか9橋

◇平成29年度点検・設計：飛田給スタジアム前歩道橋

◇ **下水道施設の地震対策の推進**（基本計画事業 No.8）＜環境部＞ **1,500万円**

下水道総合計画及び下水道総合地震対策計画に基づき、下水道施設の地震対策の推進に取り組みます。平成29年度は、次期下水道地震総合対策計画策定に向け、平成28年度に実施した調布幹線の基礎調査を踏まえた詳細調査を行います。

◇ **住宅の耐震化の促進**（基本計画事業 No.86）＜都市整備部＞ ※拡充 **4,100万円**

昭和56年5月31日以前の旧耐震基準により建築された木造住宅の所有者及び分譲マンションの管理組合等に対して、耐震診断、改修等に係る費用の一部助成を実施するとともに、耐震に係る相談会や建築士等の専門家（耐震アドバイザー）を派遣し、耐震意識の普及・啓発を行い、災害に強い住環境づくりに取り組みます。

また、更なる耐震化の普及・啓発を図るため、木造住宅及び分譲マンションへの専門家の個別訪問事業を開始します。



(2) 安心して住み続けられるまちをつくるプロジェクト

◆ 子どもたちの健やかな成長を支える

安心して子どもを産み育てられ、次代を担うすべての子どもたちが夢を持って健やかに育つ環境づくりを進めます。

◆ 高齢者や障害者の暮らしを支える

だれもが安心していきいきとした生活をおくれるよう、高齢者や障害者の暮らしを支える取組の充実を図ります。

◆ 子どもたちの健やかな成長を支える

【平成29年度の主な取組】

◇ 待機児童対策の推進（基本計画事業 No.21）＜子ども生活部＞ ※拡充 21億7,600万円

保育園待機児童の解消に向け、基本計画及び子ども・子育て支援事業計画（調布っすこやかプラン）に基づき、認可保育園等の誘致・整備を行い、計画的に定員拡大に取り組みます。平成29年度においては、800人規模の定員拡大を目指し、認可保育園10園と、分園1園の開設誘致に取り組みます。

◇ 学童クラブ施設の整備（基本計画事業 No.22）＜子ども生活部＞ ※拡充 2億1,900万円

学童クラブとユーフオーの利用状況を把握しながら、児童の適切な育成環境を確保するため、条例で定めた基準を踏まえ、基本計画及び子ども・子育て支援事業計画（調布っすこやかプラン）に基づき、学童クラブの施設整備を計画的に進めるとともに、障害児学童クラブの整備に向けた設計を実施します。

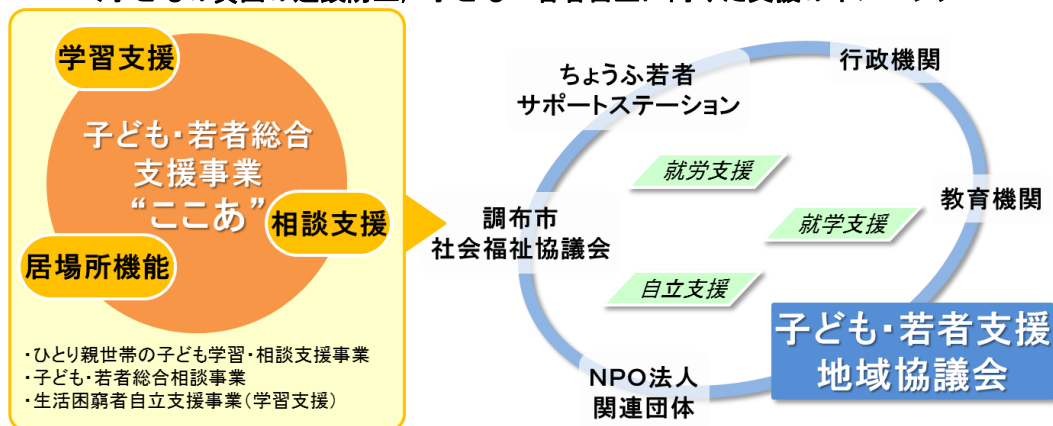
◇ ひとり親世帯の子ども学習・相談支援事業（基本計画事業 No.19）＜子ども生活部＞ ※拡充 2,400万円

子どもの貧困の連鎖防止に向け、困難を抱える子ども・若者の総合相談や生活困窮者世帯の子どもを対象とした学習支援等と連動し、ひとり親世帯の子どもを対象に学習支援や相談支援を実施します。平成29年度は、増加する学習支援のニーズに対応するため定員を拡大するとともに、支援体制の充実を図ります。

◇ 子ども・若者総合相談事業（基本計画事業 No.31）＜子ども生活部＞ ※拡充 1,700万円

15歳以上の不登校、無職、ひきこもり等の困難を抱える子ども・若者を対象に計画的な支援を行うことを目的に、相談体制を確立するとともに、子ども・若者の居場所を確保するなどの支援を行います。
また、地域の支援団体や関係機関等との連携を図るため、「調布市子ども・若者支援地域協議会」を設置し、官民が一体となって子ども・若者の実情に応じた支援の提供を目指します。

<子どもの貧困の連鎖防止、子ども・若者自立に向けた支援のイメージ>



調布市では、貧困の連鎖を防止するとともに、社会的に困難を抱える子ども・若者の自立を支援するため、「ひとり親世帯の子ども学習・相談支援事業」、「子ども・若者総合相談事業」、「生活困窮者自立支援事業」を一体的に行う「子ども・若者総合支援事業」を展開しています。

平成29年度は、困難を抱える子ども・若者の自立を支援する地域の団体や関係機関等との連携を図るため、「調布市子ども・若者支援地域協議会」を設けるほか、子ども・若者の居場所事業を行うNPOの活動を支援するなど、子ども・若者の実情に応じた支援の提供に官民一体となって取り組みます。

◇ 特別支援教育の推進（基本計画事業 No.26）＜教育部＞

5,100万円

LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥・多動性障害）、高機能自閉症等の課題のある児童・生徒に対し、教員の巡回指導や専門家チームによる巡回相談、スクールサポーターの小・中学校全校配置等により、個々に応じた教育支援を行います。

◇ 小・中学校施設の整備（基本計画事業 No.29）＜教育部＞ ※拡充

28億1,800万円

児童・生徒が良好な環境の中で学ぶことができるよう、学校施設の計画的な維持・保全を実施し、施設の老朽化対策を推進するとともに、児童・生徒数の増加に伴う学校施設の整備や給食室の改修設計を行います。

また、非構造部材の耐震化や避難所としての防災機能の向上を図るとともに、学習環境の改善として特別教室の空調整備や校庭の芝生化に取り組みます。

さらに、長寿命化に係る整備方針の策定（平成29～30年度）に向けた校舎の構造体の耐久性調査を実施します。

- ◇児童・生徒数の増加に伴う施設整備：普通教室改修工事3校（若葉小，三中，四中）
校舎増築工事2校（北ノ台小，神代中：H29～30年度）
体育館改築工事（五中：H28～29年度）
- ◇学校施設の維持保全：給食室改修工事設計（アレルギー対策含む）（若葉小）
校庭整備工事4校（染地小，多摩川小，三中，八中）
プール循環浄化装置改修工事2校（上ノ原小，調和小）
プール水槽改修工事2校（石原小，六中）
受変電設備改修工事（五中）
- ◇非構造部材の耐震対策：校舎外壁改修工事設計2校（深大寺小，調布中）
校舎外壁・屋上防水改修工事設計（国領小）
校舎外壁・屋上防水改修工事2校（柏野小，八中）
校舎外壁改修工事2校（一小，染地小）
体育館外壁等改修工事設計2校（多摩川小，柏野小）
体育館内部・外部改修工事2校（石原小，三中）
体育館内部改修工事1校（神代中）
- ◇学習環境の改善：校庭芝生化1校
特別教室空調整備 小学校9校，中学校4校
体育館空調整備1校（五中）
- ◇避難所機能向上（マンホールトイレ，バリアフリー，非常電源用設備など）：工事4校（八雲台小，杉森小，四中，七中）
- ◇校舎耐久性調査（簡易版）：23校
- ◇長寿命化に係る整備方針の策定に向けた取組（平成29～30年度）



◆ 高齢者や障害者の暮らしを支える

【平成29年度の主な取組】

◇ 地域包括支援センターの充実（基本計画事業 No.35）＜福祉健康部＞ 3億1,500万円

市内10箇所の地域包括支援センターを核として、高齢者の包括的・継続的なケアマネジメント支援、地域ケア会議等による地域ケア体制の構築に取り組むとともに、多様なネットワークを活用して、介護予防ケアマネジメント、総合相談・権利擁護等の個別支援を行います。また、各地域包括支援センターに配置した専門職により、引き続き、在宅医療・介護連携事業及び認知症支援事業に取り組めます。

◇ 介護予防・日常生活支援総合事業の展開（基本計画事業 No.37）＜福祉健康部＞ ※拡充 5億1,800万円

平成28年10月から移行した介護予防・日常生活支援総合事業において、引き続き、介護予防の普及啓発事業やフォローアップ事業に取り組むほか、地域での介護予防の継続的な取組を支援します。また、地域福祉コーディネーターとの連携の下、生活支援コーディネーターの体制を強化し、地域での支え合いの体制整備を図ります。このほか、平成27年度に開設した福祉人材育成センターを引き続き活用し、新たな生活支援サービスの担い手の養成を推進します。

◇ 地域密着型サービスの整備（基本計画事業 No.38）＜福祉健康部＞ ※拡充 2,700万円

認知症や介護が必要になっても、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるように支援する「地域密着型サービス」を、市内4つの日常生活圏域（東部、西部、南部、北部）のバランスに配慮しながら整備を促進します。平成29年度は、認知症高齢者グループホーム1箇所、定期巡回・随時対応型訪問介護看護1箇所、看護小規模多機能型居宅介護1箇所を開設します。

◇ 特別養護老人ホーム等の整備（基本計画事業 No.39）＜福祉健康部＞ 6,300万円

引き続き、特別養護老人ホーム等の建設費等の一部を助成することで、整備計画を推進し、要介護高齢者の安定した生活を確保します。

◇ 福祉人材育成拠点の整備（基本計画事業 No.34）＜福祉健康部＞ 1,800万円

専門性を備えた福祉人材の確保及び地域の福祉人材の育成を総合的に推進するため、平成27年度に開設した福祉人材育成センターを活用した福祉人材育成事業を推進し、新たなサービスの担い手の養成や、将来にわたって福祉・介護ニーズに的確に対応するための人材の確保と質の向上を図ります。

◇ 障害者の就労支援（基本計画事業 No.42）＜福祉健康部＞ 6,100万円

平成29年2月に移転したちょうふだぞう及びこころの健康支援センターにおいて、障害者が一般就労し、安心して働き続けることができるよう、身近な地域において就労面及び生活面の支援を一体的に行い、障害者の就労の促進を図り、障害者の自立と社会参加を促進します。

(3) 利便性が高く快適で豊かなまちをつくるプロジェクト

◆ 21世紀の調布のまちの骨格をつくる

京王線の地下化に連動した21世紀の調布のまちの骨格づくりを進め、様々な都市機能の集積、にぎわいや交流、うるおい、やすらぎのある都市空間の創出により、魅力的な市街地の形成を図ります。

◆ まちの活力を高める

まちの回遊性を高め、歩いて楽しいまちづくりを進めるとともに、映画やスポーツなどの地域資源を生かし、まちの活性化を図ります。

◆ 21世紀の調布のまちの骨格をつくる

【平成29年度の主な取組】

◇ 駅前広場の整備（基本計画事業 No.80）＜都市整備部＞

2億300万円

京王線地下化に連動した南北一体の街づくりを推進し、中心市街地の交通結節機能を向上させるとともに、にぎわいや交流、うるおい、やすらぎのある駅前広場を計画的かつ段階的に整備します。

平成29年度は、調布駅前広場について引き続き北側から段階的に整備を進めます。



◇ 鉄道敷地の整備（基本計画事業 No.81）＜都市整備部＞

800万円

京王線の地下化により生み出された貴重な都市空間を有効に活用し、市民交流やにぎわいの創出など、各ゾーンの特性を生かしながら鉄道敷地の整備を推進します。

平成29年度は、自転車駐車場2箇所の整備と都市公園1箇所の用地取得を進めます。また、緑道の測量、設計を行うとともに、都市公園2箇所の設計（西側端部・相模原線）を行います。

＜参考＞

○鉄道敷地の整備（全体） 8億3,700万円

- ・緑道（1箇所） 測量・設計
- ・調布駅自転車駐車場（2箇所）設計、整備工事
- ・都市公園 測量・設計2箇所（西側端部・相模原線）、用地取得1箇所（相模原線）

◇ 都市計画道路の整備（基本計画事業 No.89）＜都市整備部＞

14億4,500万円

中心市街地における、道路交通ネットワークの構築と歩行者の回遊性向上を図るため、調布3・4・28号線（蓮慶寺の通り）の用地取得を進めます。調布3・4・26号線については新みちまち区間（旧甲州街道～甲州街道）で用地取得を進めるとともに、布田駅北側（布田駅～旧甲州街道）の事業化に向け引き続き取り組み、用地取得を進めます。

また、調布3・4・21号線（つつじヶ丘駅南口）については平成30年度の事業化に向けた準備を進めます。

◇ 調布駅周辺における市街地再開発事業の促進（基本計画事業 No.82）＜都市整備部＞※拡充 4億9,900万円

魅力ある商業・業務・住宅施設等の整備とともに、都市計画道路等の公共施設整備により、駅周辺にふさわしい土地の高度利用を図り、にぎわいと活力のある市街地を形成します。

平成29年度は、調布駅北第1A地区の清算手続きを進めるとともに、関連する道路整備を進めます。

◇ 自転車等駐車場の整備・有料化（基本計画事業 No.94）＜都市整備部＞

5億7,300万円

調布市自転車等対策実施計画に基づき、自転車等駐車場の整備・有料化を図りながら、計画に位置付けた収用台数の確保を進めます。

平成29年度は、調布駅南地下自転車駐車場整備を進めるとともに、鉄道敷地において2箇所の整備を行います。また、つつじヶ丘駅北側の自転車等駐車場の整備に取り組みます。

◆ まちの活力を高める

【平成29年度の主な取組】

◇ 商店街活性化の推進（基本計画事業 No.62）＜生活文化スポーツ部＞ 4,000万円

市内全域の商業活性化に向け、調布市商工会、市内事業者、商店会と連携し、買い物環境の整備や商店会が実施するイベント事業等の支援などを通じて、商店会や個店の魅力向上やにぎわい創出を推進します。

また、商店街の施設整備を支援するため、老朽化した街路灯の維持・撤去費用やLED化、電気料金の一部を助成することで、商店会の負担軽減を図ります。

◇ 民間ノウハウを活用した中小企業・小規模事業者の支援（基本計画事業 No.64）＜生活文化スポーツ部＞ 100万円

多摩信用金庫をはじめとする複数の金融機関と締結した「中小企業等支援に関する包括協定」に基づき、創業、事業承継、経営支援、中小企業事業資金融資支援などで連携しながら、創業支援や経営課題に関するセミナーを開催するなど、市内中小企業を支援します。

◇ 「映画のまち調布」の推進（基本計画事業 No.66）＜生活文化スポーツ部＞ ※拡充 800万円

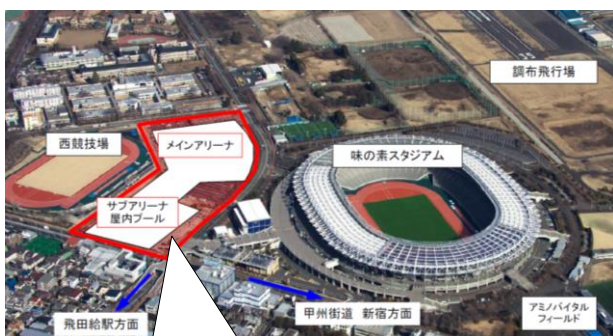
市内映画・映像関連企業・市民団体との連携を図りながら、映画・映像を「つくるまち」、「楽しむまち」、「学ぶまち」をテーマに、積極的なロケ支援や市民・事業者等と連携した映画イベントの支援・協力、「高校生フィルムコンテスト」等の世代に合わせた調布市独自の事業を展開し、広く市民に“映画”に親しんでもらうとともに、地域の活性化を図ります。



また、今年秋に開業予定の調布駅前のシネマコンプレックスと連携した「映画のまち調布」ならではの取組を展開するなど、映画・映像を「つくる」・「楽しむ」・「学ぶ」機会の充実を図ります。

◇ オリンピック・パラリンピックに向けた取組の推進（基本計画事業 No.57）＜生活文化スポーツ部＞ 500万円

調布市が開催地となるラグビーワールドカップ2019や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、大会の機運醸成のため、オリンピックを招いた交流事業や小・中学生バレー大会、小学生陸上体験教室などを開催します。併せて、スポーツボランティアの育成にも取り組みます。また、障害者スポーツ情報の積極的な広報活動、障害の有無に関わらず参加できるボッチャに親しむイベント等を開催するなど、国や都、関係団体などと連携した取組を推進します。



【調布市で実施される競技等】

◆東京2020オリンピック競技大会（2020.7.24～8.9）

＜東京スタジアム（味の素スタジアム）＞

- ・近代五種（水泳・馬術・ランニング・射撃）
- ・7人制ラグビー

※このほか、サッカーの実施が予定されています。

＜武蔵野の森総合スポーツ施設（仮称）＞

- ・近代五種（フェンシング）
- ・バドミントン

◆東京2020パラリンピック競技大会（2020.8.25～9.6）

＜武蔵野の森総合スポーツ施設（仮称）＞

- ・車椅子バスケットボール

◆ラグビーワールドカップ2019（2019.9.20～11.2）

＜東京スタジアム（味の素スタジアム）＞

- ・開会式、開幕戦



＜武蔵野の森総合スポーツ施設（仮称）＞
（平成29年3月竣工予定）

(4) うるおいのあるまちをつくるプロジェクト

◆ 豊かな水と緑を大切に守り生かす

調布の大切な財産である緑と水辺環境を守り育て、うるおいのあるまちを継承します。

◆ 良好な景観を創出する

地域固有の景観資源の価値を市民と共有し、地区の特性を生かした景観まちづくりの取組を推進します。

◆ 豊かな水と緑を大切に守り生かす

【平成29年度の主な取組】

◇ 公園・緑地、崖線樹林地の保全（基本計画事業 No.97）＜環境部＞ ※拡充 **3億円**

市民や団体の保全活動への支援や人材の育成などにより、協働による公園・緑地、崖線樹林地の維持保全を進めるとともに、市民が安全で安心して公遊園を利用できるよう公園施設長寿命化計画に基づく計画的な維持保全を行います。

平成29年度は、公園施設長寿命化計画に基づく公遊園の改修工事及び次期計画策定に向けた調査、入間町2丁目地域の崖線樹林地の保全管理に関する調査検討及び同地域の管理のための施設整備、用地取得した深大寺元町の特別緑地保全地区の暫定的な整備のほか、国分寺崖線樹林地（若葉町）の用地取得に向けた検討、みんなの森（緑ヶ丘2丁目）の公有化を行います。

◇ 公園・緑地等の整備（基本計画事業 No.98）＜環境部＞ ※拡充 **7億800万円**

公園の配置状況や市民の利用ニーズを踏まえ、新たな公遊園の整備や既存の公園・緑地等の再整備を推進します。

平成29年度は、鉄道敷地公園（西側端部・相模原線）の設計、（仮称）緑ヶ丘2丁目公園の整備工事のほか、平成28年度に策定した公園・緑地機能再編整備プランに基づき、多摩川市民広場の実施設計を行います。

また、平成28年度に寄附受けした用地を（仮称）上石原3丁目公園として暫定整備します。

◇ 深大寺・佐須地域の里山、水辺環境の保全・活用（基本計画事業 No.99）＜環境部＞ ※拡充 **300万円**

平成25年度策定の「深大寺・佐須地域環境資源保全・活用基本計画」に基づき、地域の環境資源の保全・活用に向けた取組を進めます。

平成29年度は、農業・農地を活かしたまちづくり事業を活用し整備した「調布市佐須農の家」の運営・活用を行いながら、引き続き、農業従事者等と意見交換を行うとともに、今後の支援事業を検討します。

また、計画区域内の里山・水辺環境の保全を図るため、必要な用地（深大寺南町2丁目）の公社取得を進めます。

◆ 良好な景観を創出する

【平成29年度の主な取組】

◇ 景観計画・景観条例の運用（基本計画事業 No.78）＜都市整備部＞ **600万円**

地域の特性を生かした魅力ある景観まちづくりに向け、景観条例・景観計画の適正な運用に取り組みます。

平成29年度は、身近な景観についての景観形成ガイドラインを策定し、良好な景観誘導の実効性向上を図ります。

◇ 深大寺地区におけるまちづくりの推進（基本計画事業 No.85）＜都市整備部＞ **5,400万円**

深大寺地区の風情ある街なみ景観の維持、保全を図るとともに、地域資源の活用によるにぎわいの創出や地区の回遊性を高めるため、深大寺通り街づくり協議会と連携し、街なみ環境整備事業を推進します。

平成29年度は、公共サイン整備、街なみ整備助成を実施するとともに、市道北136号線ほかの遊歩道・散策路整備を行います。

◇ 公共サイン計画の検討・運用（基本計画事業 No.79）＜都市整備部＞ **600万円**

調布市公共サイン整備方針に基づき、多言語対応も含め、だれにも分かりやすい公共サイン整備に向けた検討を行います。

2 平成29年度予算(案)のその他の主な事業

★は新規事業 ☆は拡充事業

- ★民間井戸を利用した緊急時の水の確保
- ★入間川上流域（東つつじヶ丘）における浸水被害軽減対策工事の実施
- ★防犯ボランティア保険事業の実施（ボランティア保険の導入による活動体制の整備）
- ☆義務教育就学児医療費助成における保護者負担軽減（小学校1年生～3年生の所得制限撤廃）
- ★（仮称）ステップアップホーム事業の創設（児童養護施設退所者等の自立に向けた住居支援・相談支援）
- ☆認証保育所等保育料助成事業の拡充
- ☆保育士確保に向けた支援（保育士人材確保研修等事業・保育従事職員宿舍借上げ支援事業）
- ☆幼稚園入園料の保護者負担軽減の拡充
- ☆食物アレルギー対策の着実な推進（小学校1校の給食室改修設計等）
 - ・通学路の安全確保の推進（防犯カメラの設置）
- ★福祉3計画（地域福祉計画・高齢者総合計画・障害者総合計画）の改定
- ★重度重複障害者を対象とした緊急一時保護の実施
- ☆障害者（児）施設の防災・防犯対策の整備促進
- ★健康づくりに関する諸計画（健康づくりプラン、食育推進基本計画、国民健康保険データヘルス計画、特定健診・特定保健指導実施計画）の改定
- ☆胃がんリスク検査（ABC検診）の対象年齢の拡大
- ☆B型肝炎ワクチン予防接種（定期接種）における1歳特例措置の実施
- ★産後ケア事業（出産直後等の産婦への相談・支援事業）
- ★受動喫煙防止に関する取組
- ☆水木しげる氏関連事業の推進と図書資料の充実
- ★緑ヶ丘地域福祉センターの老朽化対策
- ☆多様な主体による地域活動情報の発信の推進（ちょうふ地域コミュニティサイトの稼働）
- ☆都市農業活性化支援事業補助の活用
- ☆都市農業育成対策事業の充実
 - ・柴崎駅周辺における交通環境の改善に向けた検討
- ★飛田給駅周辺における歩行者の安全確保に向けた取組（踏切対策）
- ☆居住支援協議会による居住支援の検討
 - ・空家調査の結果を踏まえた検討
 - ・クリーンセンター機能の再編・移転に向けた取組（工事）
- ☆クリーンセンター跡地活用に関する取組
 - ・市庁舎の免震改修事業の推進（設計）
- ★税総合システムの更新に向けた取組の推進
- ☆マイナンバー制度の適切な運用、住民票等のコンビニ交付導入に向けた取組の推進

3 公共施設等の総合的かつ計画的な管理（公共施設マネジメント）の推進

公共施設の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な考え方

市では、質の高い市民サービスを将来にわたり提供できる「持続可能な市政経営」の確立を目指して、公共施設の総合的かつ計画的な管理（公共施設マネジメント）に取り組むこととしています。

◆公共施設マネジメント

公共施設の適正な配置・総量の抑制と併せて、老朽化に対応した適切な維持保全や更新のほか、管理運営・改修・更新費の縮減、負担の平準化について、民間活力の活用等を踏まえながら取り組めます。

公共施設の適正な配置と総量の抑制に当たっては、全体数や床面積等は抑制を図る一方で、施設の機能は市民ニーズを踏まえて現行のサービス水準を維持することを基本に、集約・複合化、多機能化、アウトソーシング等に取り組めます。

公共施設マネジメントにおける基本方針

【基本方針1】最適化に向けた適正な配置と総量の抑制 ～施設から機能（サービス）へ～

【基本方針2】適切な維持管理・運営の推進

【基本方針3】民間活力等の活用

＜公共施設マネジメントにおける基本方針を支える取組等＞

→組織・人員体制の整備や専門的人材の確保・育成の検討

→情報の一元的管理・情報共有

→市民との連携

※「調布市公共施設等総合管理計画」（検討案）より

(1) 公共施設マネジメントに関する主な取組等

公共施設マネジメントに関する基本的な考え方を踏まえ、庁内において組織横断的な連携を図りながら、各種取組を検討・推進していきます。

平成29年度における主な取組

◆公共施設等総合管理計画に基づく、個別施設の在り方や方向性に関する検討

⇒施設類型ごとの基本的な考え方（検討の視点）を踏まえ、個別施設の今後の在り方や方向性に関する検討に向け、各施設の状況の分析・整理に取り組めます。併せて、官民連携等のモデルとなる事業の推進も検討します。

◆市庁舎の免震化等

⇒喫緊の課題である耐震性の確保に向け、市庁舎の免震改修事業を着実に推進し、改修に向けた設計に取り組めます。また、併行して将来的な更新を見据えた検討を進めます。

◆学校施設における老朽化対策等

⇒老朽化対策を着実に推進するとともに、耐久性調査の結果等を踏まえた、今後の整備方針の策定に向けた検討に取り組めます。

(2) 計画的な公共建築物の改修・維持保全等

調布市は、「市役所庁舎」・「文化会館たづくり」などの大規模な公共施設から、「図書館分館」・「ふれあいの家」のような公共施設まで、300を超える公共建築物を保有しています。

これらの公共建築物は、市が発展し、人口が急増した昭和40年代～50年代（1965年～1975年頃）に建設した施設が多く、経年劣化が進んでいます。

公共建築物の維持保全上の現状と課題を踏まえ、維持保全の基本的な考え方や整備の方針、維持保全の優先順位などを明らかにした「公共建築物維持保全計画」を平成22年3月に策定しました。

維持保全計画については、基本計画及び公共施設等総合管理計画と整合を図り、今後も計画的な維持保全を進めることとしています。また、維持保全と合わせて、児童・生徒数の増加等への対応（校舎等の増改築）や環境配慮等の取組など、ニーズに応じた機能向上のために必要な対策を講じていきます。

平成29年度における公共建築物の改修・整備については、市庁舎の免震改修事業を着実に推進し、改修に向けた設計に取り組むほか、クリーンセンター機能の再編・移転に向け、新施設の整備工事に着手します。

さらに、児童・生徒数の増加に対応した校舎の増築や体育館の改築、教室の改修のほか、公共建築物維持保全計画に基づく、学校施設の老朽化対策、文化会館たづくり・グリーンホール、地域福祉センター、スポーツ施設などの施設改修を行います。

◇ 改修等の概要

（単位：百万円）

維持保全等工事内容	計画		取組予定					
			平成28年度 3月補正対応		平成29年度実施		合計	
	建築物数	事業費	建築物数	事業費	建築物数	事業費	建築物数	事業費
増築・改良工事等	3	3,292	1	12	11	2,584	12	2,596
老朽化に伴う工事等	30	1,830	4	111	36	1,623	40	1,734
合計	33	5,122	5	123	47	4,207	52	4,330

※建築物数欄には、「設計・工事等の実施施設が未定の学童クラブ・小中学校」「小口修繕」等を除いた建築物数を記載しています。

※増築・改良工事等における計画からの主な減要因：クリーンセンター機能移転の事業手法見直しによる進捗調整など

（H29計画：工事1,410百万円 ⇒ H29取組予定：工事574百万円）

◇増築・改良工事等

(単位：百万円)

建築物の名称	平成29年度計画		平成29年度取組予定			合計
	事業内容	計画事業費	事業内容	平成28年度 3月補正対応	平成29年度 実施	
市役所庁舎			設計（免震改修工事）		65	65
学童クラブ整備	設計・工事	50	設計・工事	12	203	215
クリーンセンター 機能移転	工事	1,410	工事		574	574
（仮称）市民運動 広場（つつじヶ 丘）			設計・工事		20	20
北ノ台小学校			工事（校舎増築）		225	225
若葉小学校			工事（普通教室改修等）		20	20
緑ヶ丘小学校			工事（低学年算数教室空 調整備）		5	5
小学校改良工事等	設計（校庭芝生化・避 難所機能整備）、工事 （校庭芝生化・避難所 機能整備・体育館飛散 防止フィルム設置・洋 便器化・特別教室空調 整備）、空調リース、 耐久性調査	438	設計（校庭芝生化、避難 所機能整備）、工事（校 庭芝生化、避難所機能整 備、体育館飛散防止フィ ルム、特別教室空調整 備）、空調リース、耐久 性調査等		397	397
神代中学校	工事（校舎増築）	495	工事（校舎増築）		208	208
第三中学校			工事（普通教室改修）		40	40
第四中学校			工事（普通教室改修）		20	20
第五中学校	設計・工事（体育館改 築、校庭整備、旧体育 館解体）	529	設計（旧体育館解体、テ ニスコート移設）、工事 （体育館改築、体育館空 調整備）		491	491
中学校改良工事等	設計・工事（避難所機 能整備）、工事（洋便 器化）、空調リース、 耐久性調査	371	設計・工事（避難所機能 整備）、工事（特別教室 空調整備）、空調リー ス、耐久性調査等		317	317
計		3,292		12	2,584	2,596

◇老朽化に伴う工事等

(単位：百万円)

建築物の名称	平成29年度計画		平成29年度取組予定			合計
	事業内容	計画事業費	事業内容	平成28年度 3月補正対応	平成29年度 実施	
つつじヶ丘児童館	設計（空調・受変電設 備）	3	※内部再調査の結果、劣 化度を踏まえ再調整		0	0
富士見児童館	設計（空調・電気設備）	4	※内部再調査の結果、劣 化度を踏まえ再調整		0	0
緑ヶ丘児童館			改修（館庭）		8	8
子ども家庭支援セ ンターすこやか			改修（広場及び会議室ス ライディングウォール交 換）	7	0	7
神代保育園			改修（調理室、0・1・2 歳児室、ホール床、シャ ワー室）		51	51
総合福祉センター			改修（非常用発電機設 備）		6	6

◇老朽化に伴う工事等（つづき）

（単位：百万円）

建築物の名称	平成29年度計画		平成29年度取組予定			
	事業内容	計画事業費	事業内容	平成28年度 3月補正対応	平成29年度 実施	合計
国領高齢者在宅サービスセンター			設計（浴室等）		4	4
知的障害者グループホームじょい			工事（消防設備設置）		2	2
文化会館たづくり	改修（大会議場調光設備，くすのきホール負荷設備）など	231	改修（くすのきホール負荷設備，受変電設備真空遮断器等，地下1階電動式移動棚，蒸気ボイラー煙管・ステー管交換，3段式機械駐車装置部品交換等） ※非常照明用蓄電池改修工事は平成28年度前倒し実施（平成28年度3月補正）	21	149	170
グリーンホール	改修（地下1階監視室空調機）など	51	改修（1階レストラン空調機，受変電設備高圧遮断器，高圧進相コンデンサ・リアクトル等）		17	17
緑ヶ丘地域福祉センター	改修（空調）	26	改修（空調，内装，トイレ，外壁等）		97	97
染地地域福祉センター	改修（外壁・屋上防水），改修（空調・電気設備）	69	※内部再調査の結果，劣化度を踏まえ再調整 ※空調改修は平成27年度前倒し実施（平成27年度3月補正）		0	0
菊野台地域福祉センター			設計（空調，トイレ，給水管，内外装等）		13	13
第一小学校	改修（校舎外壁）	82	改修（校舎外壁）		82	82
第二小学校	改修（プール水槽）	5	※平成28年度前倒し実施（平成28年度12月補正）		0	0
深大寺小学校			設計（校舎外壁）		8	8
上ノ原小学校	改修（プール循環浄化装置）	12	改修（プール循環浄化装置）		12	12
石原小学校	改修（プール水槽，体育館屋根・外壁）	47	改修（プール水槽，体育館屋根・外壁・内部）		109	109
若葉小学校	改修（体育館屋根・外壁）	39	設計（給食室）		11	11
緑ヶ丘小学校	設計（給食室）	11	※若葉小学校の生徒数増加による対応を優先し再調整		0	0
染地小学校	改修（校庭，校舎外壁）	89	改修（校庭，校舎外壁）		89	89
多摩川小学校	改修（校庭，プール循環浄化装置），設計（体育館床・内部）	35	改修（校庭），設計（体育館床・内部，体育館屋根，外壁） ※プール循環浄化装置改修は平成28年度前倒し実施（平成28年度12月補正）		26	26
柏野小学校	改修（屋上防水，外壁）	94	設計（体育館屋根・外壁），改修（屋上防水，校舎外壁）		97	97

(単位：百万円)

建築物の名称	平成29年度計画		平成29年度取組予定			
	事業内容	計画事業費	事業内容	平成28年度 3月補正対応	平成29年度 実施	合計
国領小学校	改修（屋上防水）	39	設計（屋上防水，校舎外壁）		16	16
調和小学校			改修（プールろ過タンク）		12	12
調布中学校			設計（校舎外壁）		11	11
神代中学校	改修（体育館床・内部，受変電設備）	124	改修（体育館床・内部）		191	191
第三中学校	改修（第二体育館床・内部・屋根・外壁，校庭）	177	改修（第二体育館床・内部・屋根・外壁，校庭）		177	177
第五中学校	改修（受変電設備）	20	改修（受変電設備）		20	20
第六中学校	改修（プール水槽）	5	改修（プール水槽）		5	5
第八中学校	改修（校庭，屋上防水，校舎外壁）	97	改修（校庭，屋上防水，校舎外壁）		97	97
郷土博物館			改修（屋上防水）	15	0	15
図書館若葉分館	改修（外壁，屋上防水）	18	改修（外壁，屋上防水）		18	18
図書館富士見分館・富士見保育園	改修（外壁，屋上防水，受変電設備，電気設備）	117	改修（外壁，屋上，受変電設備）	69	0	69
東部公民館・東部保育園・東部児童館	改修（外壁，屋上防水）	51	※内部再調査の結果，劣化度を踏まえ再調整		0	0
入間地域福祉センター・希望の家分場	改修（外壁），設計（電気設備）	38	設計（電気設備）		3	3
総合体育館			改修（非常照明用蓄電池）		8	8
西調布体育館			改修（電気設備）		14	14
調布基地跡地運動広場	改修（グラウンド）	27	※内部再調査の結果，劣化度を踏まえ再調整		0	0
市民多摩川テニスコート			改修（クラブハウス外部ほか）		14	14
市民緑ヶ丘テニスコート			改修（クラブハウス談話室空調機ほか）		5	5
市民深大寺テニスコート	改修（コート）	11	※内部再調査の結果，劣化度を踏まえ再調整		0	0
市民野球場			改修（夜間照明）		12	12
多摩川児童公園	改修（グラウンド）	3	改修（スコアボード）		3	3
西町野球場・少年野球場	改修（グラウンド）	44	※内部再調査の結果，劣化度を踏まえ再調整		0	0
西町サッカー場	改修（グラウンド）	30	※内部再調査の結果，劣化度を踏まえ再調整		0	0
大町スポーツ施設			改修（体育館高天井照明等）		11	11
富士見第2市営住宅			改修（污水管）		8	8
富士見第1・深大寺市営住宅			改修（雑排水管）		5	5
小口修繕		231			209	209
計		1,830		111	1,623	1,734

4 子ども・子育て分野、福祉分野における新たな課題に対する取組の推進

<1> 子ども・子育て分野、福祉分野の新たな課題に対する取組

調布市では、子ども・子育てに関する新制度や介護保険制度の改正など、近年の子ども・子育て分野、福祉分野における新たな課題に適切に対応するため、待機児童対策や社会的に困難を抱える子ども・若者への支援、生活困窮者自立支援など、事業の充実や新規事業の開始に取り組んでいます。

また、児童福祉法、母子保健法の改正を踏まえ、「ゆりかご調布」事業をはじめとする、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援の取組を充実していきます。

<2> 平成29年度の主な取組

★は新規事業 ☆は拡充事業 ・は継続事業

●多様な保育ニーズの対応強化

- ☆待機児童対策の推進
 - ☆認可保育園の開設誘致（認可保育園 10 園・分園 1 園の整備により 800 人規模の定員を拡大）
 - ☆保育士確保に向けた支援（保育士人材確保研修等事業・保育従事職員宿舍借上げ支援事業）
 - ★保育コンシェルジュの配置
- ☆放課後対策事業の充実
 - ・学童クラブ施設の整備（計画的に施設整備を推進）
 - ・学童クラブとユーフォー（放課後子供教室事業）の運営の充実（学童クラブとユーフォーの連携した運営の推進）
 - ★障害児学童クラブの整備に向けた設計
- ☆認証保育所等保育料助成事業の拡充
- ☆幼稚園入園料の保護者負担軽減の拡充

●妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援の充実

- ☆「ゆりかご調布」事業（健康推進課窓口等での休日対応）
- ★産後ケア事業（出産直後等の産婦への相談・支援事業）
- ・妊婦や乳幼児への健診
- ★保育コンシェルジュの配置【再掲】
- ☆児童館子育てひろばにおける助産師相談事業
- ☆義務教育就学児医療費助成における保護者負担軽減（小学校 1 年生～3 年生の所得制限撤廃）
- ☆児童虐待防止センターの体制強化 ☆ベビーシッター利用料助成等（多子・多胎児世帯への支援の充実）
- ・子ども家庭支援センター「すこやか」での支援事業（相談事業、一時預かり保育など）
- ・こんにちは赤ちゃん訪問などの相談事業
- ・特定不妊治療費の助成
- ☆乳幼児への予防接種
- ・児童館子育てひろば事業
- ・病児・病後児保育事業（市内 2 箇所）

●子どもの貧困の連鎖防止への対策の充実と若者の自立支援の充実

- ☆子ども・若者総合支援事業の実施
社会的に困難を有する子ども・若者の自立を支援し、貧困の連鎖を防止するため、総合福祉センターを拠点に、相談事業、学習支援事業、居場所事業を一体的に行う「子ども・若者総合支援事業」を実施
- ★子ども・若者支援地域協議会の設置
- ★（仮称）ステップアップホーム事業の創設（児童養護施設退所者等の自立に向けた住居支援・相談支援）
- ・子どもの居場所事業への助成

●生活困窮者自立支援への取組

- ・生活困窮者自立支援事業の充実
- ・自立相談支援事業
- ・住居確保給付金事業
- ☆子どもの学習支援事業

●介護保険制度改正に関連した取組

- ・介護予防・日常生活支援総合事業の展開（介護予防・生活支援サービス事業、一般介護予防事業）
- ・地域包括支援センターの充実
- ・認知症総合支援事業
- ☆生活支援体制整備事業の充実（第 2 層生活支援コーディネーターの配置、生活支援サービスの担い手養成等事業など）
- ※その他関連事業
- ・在宅医療・介護連携推進事業
- ・見守りネットワークの推進
- ・福祉人材育成事業の推進

【調布市における妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援】

調布市では、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援を行うとともに、多子家庭やひとり親家庭、障害をお持ちの家庭など各家庭の状況やニーズにあわせたきめ細かな支援により、安心して子どもを産み、育てられるまちづくりを進めています。

また、子育ての孤立を防ぐ取組や、妊産婦・乳幼児・保護者の心身の健康の保持・増進を図る取組などを通じて、児童虐待防止にもつなげています。

●主な支援メニュー

H29年度に新規・拡充のある事業（★は新規事業 ☆は拡充事業）

時期 ニーズ	妊娠前	妊娠期 (産前)	産褥期			3~ 5ヶ月	6~ 11か月	1歳~ 1歳5ヶ月	1歳6ヶ月 ~就学前	小学生	中学生~18歳		
			0ヶ月	1ヶ月	2ヶ月								
相談したい 利用したい		<ul style="list-style-type: none"> ★保育コンシェルジュの配置 ・すこやか相談コーナー 	<ul style="list-style-type: none"> ★児童虐待防止センター ・児童館子育てひろば 			<ul style="list-style-type: none"> ★児童館子育てひろばでの助産師相談 ・育児相談（公立全園・私立2園） 							
		☆ゆりかご調布	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども発達センターにおける相談（※事業の利用は生後6か月~就学前） 										
安全な遊び場 居場所が ほしい			<ul style="list-style-type: none"> ・子ども家庭支援センターすこやか 屋根のある公園 ・児童館 								<ul style="list-style-type: none"> ☆学童クラブ ・ユーフオー 	<ul style="list-style-type: none"> ☆子ども・若者総合支援事業 ・CAPS 	
交流したい 情報が欲しい		<ul style="list-style-type: none"> ・もうすぐママ/V教室 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレイセンターちょうふ 子育てひろば 			<ul style="list-style-type: none"> ・親子遊びや情報交換 コロコロパンダ、にこにこパンダ、すくすくパンダなど 			<ul style="list-style-type: none"> ・パパひろば ・地域交流事業（公立・私立保育園） 				
			<ul style="list-style-type: none"> ・子育て講座（エンゼル大学） 		<ul style="list-style-type: none"> ・調布市子育て応援サイト「コサイト」 			<ul style="list-style-type: none"> ・カフェ「aona」 					
					<ul style="list-style-type: none"> ・わくわく育児教室 			<ul style="list-style-type: none"> ・就学前講座 					
子どもを 預けたい			<ul style="list-style-type: none"> ・認可保育園（★保育園の開設誘致・運営支援）・認証保育所 										
			<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園 										
			<ul style="list-style-type: none"> ・一時預かり（保育園） 										
			<ul style="list-style-type: none"> ・すこやか保育 ・病児・病後児保育 										
			<ul style="list-style-type: none"> ・ショートステイ ・トワイライトステイ 										
			<ul style="list-style-type: none"> ・一時預かり（プレイセンターちょうふ） 										
手伝って ほしい		<ul style="list-style-type: none"> ★育児・家事ヘルパー派遣（ベイビーすこやか） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリー・サポート・センター事業 										
			<ul style="list-style-type: none"> ★ベビーシッター利用料助成 										
保健 予防接種			<ul style="list-style-type: none"> ★産後ケア事業 										
			<ul style="list-style-type: none"> 【各種子どもの健康相談・訪問事業の実施】 ・未熟児訪問 ・こんこちは赤ちゃん訪問 ・健康相談（こどもの相談室・こども歯科相談室） ・食事なんでも相談室 ・アレルギー相談 ・ひろばのお医者さん・歯医者さん・栄養士さん 										
			<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦健診 			<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診 ・発達健診 ・経過観察健診 							
			<ul style="list-style-type: none"> ・予防接種 										
経済的 支援	<ul style="list-style-type: none"> ・不妊治療助成 	<ul style="list-style-type: none"> ・入院助産制度 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童手当 										
			<ul style="list-style-type: none"> ・出産育児一時金 			<ul style="list-style-type: none"> ☆幼稚園保護者負担軽減 							
			<ul style="list-style-type: none"> ・母子栄養食品の支給 										
	<ul style="list-style-type: none"> ・出産貸付制度 		<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児医療費助成制度 										
			<ul style="list-style-type: none"> ★認証保育所等保育料助成 										
			<ul style="list-style-type: none"> ・紙おむつ用ごみ袋の配付 										
			<ul style="list-style-type: none"> ☆義務教育就学児医療費助成制度 										
			<ul style="list-style-type: none"> ・就学援助制度 										

妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援により、児童虐待防止につなげていきます

子どもを 守りたい	発生予防・未然防止	早期発見	迅速・的確な対応
	☆ 児童虐待防止センター		
	<ul style="list-style-type: none"> ・すこやか虐待防止ホットライン 		

※平成29年度に新規・拡充のある事業を中心に掲載しています。

5 東京2020大会、ラグビーワールドカップ2019に向けた取組の推進

2020年に向けた調布市アクション&レガシープラン（検討案）

<1> 取組の方向

○2020年に向けた調布市の取組方針の具現化を図り、多様な主体と連携した様々な角度からのアクションを推進していくことで、大会の準備段階から開催後にわたり長期的・継続的に東京2020大会、ラグビーワールドカップ2019により享受できる有形・無形のレガシーを創出し、調布のまちの更なる発展と多摩地域全体の振興につなげていきます。

◆2020年に向けた調布市の取組方針（平成28年7月策定）

○世界最大級のスポーツイベントが、2年連続で調布市において開催されることは、とりわけ次代を担う子どもたちにとって、スポーツの役割の重要性や平和の尊さを実感するとともに、明るい希望と夢を抱いて世界に目を開く絶好の機会となります。

○大会を契機として、基本計画や総合戦略と連動した様々な角度からの取組を、多様な主体と連携・協働し、市の諸施策における効果と有形・無形のレガシーを創出し、調布のまちの更なる発展と魅力の向上、多摩地域全体の振興につなげていきます。

3つの視点 ①円滑な開催支援 ②機運醸成・各分野の振興 ③レガシー創出

5つのテーマ

①スポーツ・健康づくり ②産業・観光振興 ③まちづくり ④文化・国際交流・平和 ⑤教育・青少年の健全育成

◆2020年に向けた調布市アクション&レガシープラン

東京2020大会と、その前年の2019年ラグビーワールドカップに向けた調布市の取組について、東京2020組織委員会のアクション&レガシープランと連動させた取組を「2020年に向けた調布市のアクション&レガシープラン」として策定し、「2020年に向けた調布市の取組方針」の具現化を図ります。

<2> 5つのテーマとレガシー創出に向けた取組

★は新規事業 ☆は拡充事業 ・は既存事業

◆ 取組テーマ① スポーツ・健康づくり

■H29年度主なアクション ※は体育協会との連携事業

<スポーツ>

○ スポーツイベント等の実施

- ・調布市民体育祭※ ・調布市民スポーツまつり※ ☆調布市民駅伝競走大会※
- ・東京調布ロードレース※ ・サウディアラビアンフットサル国際親善カップ ・ポッチャの推進
- ・小・中学生バレー大会※ ★ニュースポーツの推進 ・調布フットサル大会※など
- ・プロサッカーチームによる地域貢献活動支援
- ・近隣市と連携したラグビーフェスティバルの開催（府中市・三鷹市との連携事業）

○ タグラグビーの推進

☆小学生タグラグビー大会の開催 ☆児童館・学童クラブにおけるタグラグビーの推進

○ スポーツを通じたオリンピック・パラリンピックの機運醸成

- ・オリンピック交流事業※ ・地域運動会での機運醸成
- ★オリ・パラ競技を楽しもう（幼稚園・保育施設でのイベント等における機運醸成）

○ スポーツ施設の整備

★多摩川児童公園内運動施設整備工事 ★（仮称）市民運動広場新設工事（つつじヶ丘） など

○ 障害者スポーツの推進

- ☆障害者スポーツ情報の積極的な広報活動
- ☆障害者余暇活動支援事業（ほりで一ぶらん）【再掲 取組テーマ③】

<健康づくり>

- ・リフレッシュ体操スクール※ ☆受動喫煙防止に関する取組【再掲 取組テーマ③】

【創出するレガシー】

- ◆だれもがスポーツに親しみ、楽しめる環境づくり、スポーツを支えるボランティアの確保育成
- ◆都内4大スポーツクラスターの一つとして、多くの国際大会等の開催、多摩地域のスポーツ拠点形成
- ◆スポーツを通じた市民交流 ◆スポーツ等を通じた健康増進

◆ 取組テーマ② 産業・観光振興

■ H29 年度主なアクション

○ にぎわい創出・魅力発信

- ・深大寺を会場とする“和”のおもてなしイベント（調布市観光協会との連携事業）
- ・調布の魅力をめぐるウォークラリー（調布市観光協会との連携事業）
- ・近隣市と連携したレンタサイクル事業の推進（三鷹市・小金井市との連携事業）
- ☆調布駅周辺で開業するシネマコンプレックスと連動した「映画のまち調布」の推進
- ・調布花火 ・ゲゲゲ忌関連イベント
- ・調布市魅力発信事業（調布市のPR映像を制作し、広く国内外へ発信する）

○ 環境整備

- ★駅前広場，鉄道敷地等を活用したにぎわい創出に関する取組
- ・Wi-Fi 環境整備の推進
- ★インバウンド対策事業（外国人へのおもてなし）
- ・ARアプリの推進
- ☆花いっぱいによるおもてなしの取組の検討

【創出するレガシー】

- ◆商工会・観光協会，鉄道事業者など，多様な主体と連携した観光プロモーションの実施
- ◆地域資源の魅力発信，観光ボランティア等によるおもてなしによる来街者の増加
- ◆多摩地域が相互に連携した観光振興

◆ 取組テーマ③ まちづくり

■ H29 年度主なアクション

○ 安全・安心なまちづくり，福祉のまちづくり

- ・施設のバリアフリー化の推進（緑ヶ丘地域福祉センター，避難所（小・中学校体育館）など）
- ☆防犯活動の推進（街頭防犯カメラ設置支援，防犯パトロール，通学路の安全確保（防犯カメラ設置））
- ★バリアフリーハンドブックの作成
- ☆障害者余暇活動支援事業（ほりでーぷらん）

○ 競技会場周辺の環境整備

<ハード>

- ★飛田給駅周辺における歩行者の安全確保に向けた取組（踏切対策）
- ☆橋りょう整備（飛田給スタジアム前歩道橋の改修に向けた点検・設計）
- ・市道の無電柱化（スタジアム周辺）
- ☆人と環境にやさしい道路整備（スタジアム通り再整備，歩道セミフラット化）
- ☆人と環境にやさしい道路整備測量設計（主要市道 12 号線の歩道セミフラット化，舗装改良などのバリアフリーの促進）
- ★老朽化したトイレの改修

<ソフト>

- ☆受動喫煙防止に関する取組
- ・喫煙マナーアップパトロールによる都市美化の推進
- ・多言語を含む公共サイン整備のための計画検討・実施

【創出するレガシー】

- ◆地域の特性を生かした環境負荷の少ない持続可能で魅力的な都市空間の形成
- ◆景観まちづくりの取組による街並み景観の向上
- ◆外国人を含む利用者の視点に立った，分かりやすく親しみやすい公共サイン整備による回遊性の向上
- ◆ユニバーサルデザインの考えに基づく福祉のまちづくりの推進

◆ 取組テーマ④ 文化・国際交流・平和

■ H29 年度主なアクション

※1 は調布市文化・コミュニティ振興財団との連携事業

※2 は調布市国際交流協会との連携事業

<文化・国際交流>

○ 文化イベント等の実施

★オリンピック・パラリンピックフラッグツアーイベント～たづくりオリンピックフィールド～（仮称）※1

- ・和の伝統文化を学ぶ市民講座※1
- ・リユース素材やブロック玩具を活用した展示※1
- ・日本の伝統芸能公演の実施※1
- ・調布国際音楽祭※1 ・調布よさこい※1 ・調布市民文化祭※1 ・調布映画祭※1

★アールブリュット展事業

☆東京 1964 オリンピックの資料展

★芸術鑑賞事業（演劇、バレエなど）<市民団体との連携事業>

☆2020 年に向けた文化事業の PR

○ 国際交流・国際理解

☆小学生英語体験事業※2

- ・外国人おもてなし語学ボランティア講座※2 ☆語学ボランティア・フォローアップ研修事業※2
- ・児童館における異文化交流 ・幼稚園・保育施設における世界の国々を学ぶ取組

○ ホストタウン・サウジアラビア交流事業

■ 調布市民対象とした事業

☆アラビア書画の展示 ☆アラビア文化理解講座 ・アラブイスラーム学院訪問

■ サウジアラビア留学生を対象とした事業

- ・日本文化講座 ・木島平村交流 ・花火交流

<平和>

・2020 年に向けた平和事業の PR

・子どもたちからの人権メッセージ発表会

【創出するレガシー】

◆ 文化プログラムと連動したイベントの継続

◆ 日本の伝統や文化、参加国・地域の文化や言語、共生や平和の理念などに関する生涯学習の推進



<サウジアラビア大使館、アラブイスラーム学院訪問事業>



<サウジアラビアンフットサル国際親善カップ>

◆ 取組テーマ⑤ 教育・青少年の健全育成

■ H29 年度主なアクション

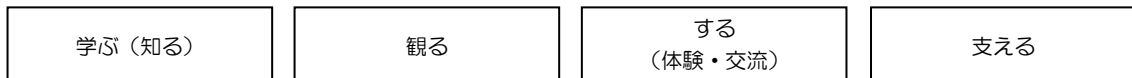
○ オリンピック・パラリンピック教育推進校の取組

- ・オリンピック・パラリンピック教育の調布市立小・中学校の全校展開
「4×4の取組」（4つのテーマと4つのアクションを組み合わせた多彩な取組）

4つのテーマ



4つのアクション



<5つの資質・能力を伸ばすための4つのプロジェクト>

- ①東京ユースボランティア
- ②スマイルプロジェクト
- ③世界ともだちプロジェクト
- ④夢・未来プロジェクト

【重点的に育てたい資質・能力】

- ①ボランティアマインド：手話を学ぼう（総合）、クリーン作戦など
- ②障害者理解：パラリンピック競技を体験しよう（総合）、障害者理解教育（各教科等）など
- ③スポーツ志向：体力アップ大作戦（体育）、タグラグビー（体育）など
- ④日本人としての自覚と誇り：日本の古典に親しもう（国語・音楽）、思いやりキャンペーン（道徳・総合）など
- ⑤豊かな国際感覚：世界の料理（特別活動）、アメリカンスクールとの交流（総合）など

【市独自の取組】

- ・調布市で実施される競技種目のルール学習・競技体験・試合観戦
- ・小学校におけるタグラグビー授業の推進
- ・中学校連合行事大会の実施（各校で取り組んでいる体力向上施策の成果を発揮する場の設定）
- ・中学生東京駅伝大会へのオール調布選抜チームの参加

○ 青少年の健全育成

- ・青少年健全育成地区親善ソフトボール大会
- ・児童館交流サッカー大会
- ・児童館まつり
- ・学童クラブ交流ドッチビー大会

【創出するレガシー】

- ◆児童・生徒が運動・スポーツに親しむことによる基礎体力の向上
- ◆子どもたちの自己実現の促進と共生社会や国際社会を担う資質・能力の育成
- ◆日本人としての自覚と誇りの醸成と日本の良さを世界へ示す意欲と力の育成
- ◆平和な社会の実現と持続可能な社会づくりへのスポーツ・文化の貢献に対する理解得心と、主体的に社会貢献する力の育成

<3> プランの実現に向けて

- 施策横断的な庁内連携、多様な主体との連携（市民、関係団体、近隣市等との連携）
- 各種イベントとの連携・エンブレム等を活用した機運醸成
- 調布市にゆかりのある選手の応援、連携事業の実施検討
- パブリックビューイングの検討・実施
- ボランティアの確保育成・支援
- ロンドン、リオ大会等先行事例等を踏まえた取組の検討
- 東京都市オリンピック・パラリンピック連絡協議会における情報共有・意見交換
- 多摩川流域連携会議において構成各市区の取組等の意見交換・情報共有 など